



平成 21 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ミスターマックス
代表者名 代表取締役社長 平野 能章
(コード番号 8203 東証第一部、福証)
問合せ先 取締役経財本部長 中野 英一
(TEL 092-623-1141)

特別損失の発生および業績予想の修正、
役員報酬等の減額ならびに平成 22 年 3 月期の業績予想に関するお知らせ

当社は、下記の特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 2 月 13 日に公表した平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、役員報酬等の減額につきまして、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

平成 21 年 3 月期の連結財務諸表および個別財務諸表において、下記の特別損失を計上いたします。

(1) 減損損失 4,059 百万円

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗又はショッピングセンター、および時価が著しく下落した遊休資産で今後使用見込みのない資産グループの帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額 4,059 百万円を減損損失として特別損失に計上いたします。

(2) 店舗閉鎖損失引当金繰入額 384 百万円

平成 22 年 3 月期実施予定の店舗退店に伴い発生する損失に備えるため、今後発生すると見込まれる損失額 384 百万円を店舗閉鎖損失引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

2. 当期の業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(1) 連結

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	99,600	850	1,000	△ 200	△ 5.99
今回修正予想 (B)	99,655	673	821	△ 5,085	△ 147.51
増減額 (B - A)	55	△ 177	△ 179	△ 4,885	—
増減率 (%)	0.1%	△ 20.8%	△ 17.9%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	99,558	719	879	665	18.74

(2) 個別

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	96,500	850	1,000	△ 200	△ 5.99
今回修正予想 (B)	96,497	681	861	△ 5,078	△ 147.33
増減額 (B - A)	△ 3	△ 169	△ 139	△ 4,878	—
増減率 (%)	△ 0.0%	△ 19.9%	△ 13.9%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	96,811	765	932	655	18.45

(修正の理由)

第4四半期(平成21年1月～3月)において、景気がますます不透明感を増す中、当社は、継続的な値下げの実施や圧倒的な安さを訴求するプライベート・ブランド商品の充実など、暮らし応援型のディスカウントストアとしての商品提供を行ってまいりました。これらの結果、第4四半期のMrMax単体の既存店客数・売上高は前年同期比を上回り、通期の営業収益(売上高+不動産賃貸収入)は前回予想とほぼ同等の水準に着地いたしました。

利益面につきましては、価格引下げ局面における「棚卸資産の評価に関する会計基準」適用による荒利益率への影響が、前回発表時の予想を上回ったことなどから、営業利益および経常利益の業績予想を修正いたします。また、減損損失や店舗閉鎖損失引当金繰入額などの特別損失の計上および繰延税金資産を408百万円取り崩すことなどにより、当期純利益の業績予想を修正いたします。

3. 配当予想

配当予想につきましては、平成21年2月13日の第3四半期決算発表時に公表した内容から変更はありません。会計基準変更による影響などにより、多額の評価損を計上いたしました。営業キャッシュ・フロー(現金収支)は連結決算開始時の平成13年3月期以来の大きな黒字となることから、明日開催予定の決算取締役会において、期末配当を1株当たり5円とする株主総会議案を上程する予定です。中間配当金5円とあわせ、年間配当10円の継続を予定しております。

4. 役員報酬等の減額

平成21年2月13日に公表した業績予想の下方修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬等の減額に着手しております。

(1) 役員報酬の減額の内容

代表取締役：月額報酬の30%を減額

取締役：月額報酬の20%を減額

(2) 執行役員給与の減額の内容

執行役員：月額報酬の10%を減額

(3) 対象期間

平成 21 年 4 月から当面の間

なお、役員賞与につきましては、平成 17 年 3 月期決算よりその支給を中断しており、平成 21 年 3 月期におきましても、支給しないことといたします。

5. 平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の連結業績予想

（単位：百万円）

	平成 21 年 3 月期 （見込）	平成 22 年 3 月期 （予想）
営 業 収 益	99,655	101,200
営 業 利 益	673	900
経 常 利 益	821	1,100
当 期 純 利 益	△ 5,085	700

「値下げ断行」を打ち出した昨年 12 月以降、既存店客数・売上高とも回復傾向にあり、平成 21 年 4 月の既存店売上高も前年比 108.4%となりましたが、消費環境は引き続き厳しい状況が続くことが見込まれることから、通期の既存店売上高前年比 100.9%を前提に予想いたしております。

当期末において、多額の固定資産の減損損失を計上することにより、減価償却負担が大幅に軽減されることなどから、営業利益、経常利益は増益となる見込みです。また、多額の特別損失が発生する見込みがないことから、当期純利益は黒字化する見込みです。

（注）本資料における業績予想は、当社の本資料発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって本資料記載の業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上